



更なる復興対策推進に向けた検討報告書【概要】

【健康と安全・安心を守る】 【子どもを育む】

- 東日本大震災、福島第一原発事故からの避難の長期化、避難地域を取り巻く状況の変化により、避難者が抱える課題の深刻化や新たな課題への対応が必要となっている。
- 平成26年4月から新生ふくしま復興推進本部の下、復興対策推進プロジェクトチームを設置し検討を進めてきたところであり、避難者の現状に鑑みて重視すべき分野に関する施策の更なる充実・強化を図ることができた。

検討テーマと主な目指すべき取組

【健康と安全・安心を守る】

- **県民の健康を長期的にどう守っていくのか**
 - ・甲状腺検査を含む県民健康調査の継続
 - ・放射線健康障害の最先端治療等の拠点の整備
- **食品・農林水産物等の検査体制を長期的にどう継続させていくのか**
 - ・県産農林水産物の緊急時モニタリングを始めとする、食品・農林水産物等の検査の継続
 - ・広報や可視化対策など、安全、安心に対する理解促進・風評払拭
- **避難の長期化及び応急仮設住宅終了後に分散化していく避難者への見守り・相談体制等をどう継続・構築していくのか**
 - ・避難者の分散化に対応した相談員の人員増や効率的配置
 - ・近隣県への財政支援や県外への復興支援員の配置
- **放射線に対する防護や円滑な避難体制をどう構築していくのか**
 - ・放射線と健康について、自らが考え、判断し行動できる人材の育成
 - ・災害発生後の適切なケア体制や、広域での要配慮者支援体制の整備

【子どもを育む】

- **安心して子どもを生み、育てられる環境をどう整備していくのか**
 - ・ライフステージに応じた各種取組の推進
 - ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業への支援等、仕事と子育てを両立できる環境の整備
- **教育水準の向上をどのように図っていくのか**
 - ・学校や地域、家庭で課題を共有し、新たな視点での学習環境の構築
 - ・ふたば未来学園高等学校における、企業、大学等の連携による国際的人材の育成
 - ・運動の楽しさを実感させる取組の推進
- **18歳以下の医療費無料化を長期的にどう継続させていくか**
 - ・安心して医療を受けられる体制の長期的な維持
- **子どものふるさとへの意識をどう維持し、次世代の帰還に繋げていくのか**
 - ・民俗芸能の後継者育成、地域意識の醸成

施策の具現化 (主なH27の県重点事業)

- ・県民健康調査事業 6,065百万円
 - ・ふくしま国際医療科学センター整備事業 13,573百万円
 - ・米の全量全袋検査推進事業 6,180百万円
 - ・ふくしまの恵み安全・安心推進事業 694百万円
 - ・避難者見守り活動支援事業 1,626百万円
 - ・ふるさとふくしま帰還支援事業 860百万円
 - ・放射線教育推進支援事業 11百万円
 - ・広域災害福祉支援ネットワーク構築支援事業 2百万円
- 37事業 251,678百万円

- ・結婚から子育てまでみんなで支える環境整備事業 122百万円
 - ・女性活躍促進事業 92百万円
 - ・ふくしまからはじめよう。学力向上のための「つなぐ教育」推進事業 12百万円
 - ・双葉郡中高一貫校設置事業 930百万円
 - ・スーパーグローバルハイスクール事業 16百万円
 - ・ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト外 76百万円
 - ・子どもの医療費助成事業 4,546百万円
 - ・ふくしまからはじめよう。「地域のたから」伝統芸能承継事業 18百万円
- 64事業 13,506百万円

更なる復興対策推進

財源の確保

- 「県民の健康管理」、「食の安全確保」、「18歳以下の医療費無料化」などについて、安定的かつ継続的な財源措置の確保

施策の不断の検証

- 不断の検証による施策の更なる充実・強化
- 復興・帰還の段階で生ずる新たな課題への的確な対応
- 関係部局間の緊密な連携

国への 政策提言・要望活動

本県復興の加速化